信頼済みサイトのセキュリティ設定

■確認方法

■ 100 J (1) (メインメニュー(メインメニューが表示されていない場合はAltキーを押下)から
 [ツール] - [インターネットオプション]をクリックして下記の2ヶ所の必須設定項目を確認する。
 ・ [セキュリティ]の[信頼済みサイト]
 ・ [詳細設定]

- 1. [セキュリティ]の[信頼済みサイト]
- [レベルのカスタマイズ]ボタンをクリック 赤枠で囲った部分が必須設定項目。(OSの違い[windows7とWindows10 等]により、設定項目が無い場合もある) それ以外の項目は、資料通りに設定する必要はない。(デフォルト設定での使用を推奨)
- 68 🛃 Loose XAML ○ ダイアログを表示する ○ 無効にする

 奇効にする

 🛃 XAML ブラウザー アプリケーション ○ ダイアログを表示する ○ 無効にする 有効にする אינאביל XPS אינאבאל ○ ダイアログを表示する ○ 無効にする 有効にする 🛃 .NET Framework セットアップを有効にする ○ 無効にする 有効にする Ref Framework 依存コンポーネント Re Authenticode で署名したコンポーネントを実行する ○ ダイアログを表示する ○ 無効にする Re Authenticode で署名しないコンポーネントを実行する ○ ダイアログを表示する ○ 無効にする ● 有効にする 優 マニフェストがあるコンポーネントのアクセス許可 安全性 - 高
 ○ 無効にする 👔 ActiveX コントロールとプラグイン ■ ActiveX コントロールでのマルウェア対策ソフトウェアの実行 ● 無効にする ○ 有効にする 💽 ActiveX コントロールとプラグインの実行 ダイアログを表示する 管理者の許可済み ○ 無効にする ● 有効にする ■ ActiveX コントロールに対して自動的にダイアログを表示 ● 無効にする ○ 有効にする ActiveX フィルターを有効にする () 無効にする ○ 有効にする ■ ActiveX を警告なしで使用することを承認済みのドメインにのみ許可する ● 無効にする ○ 有効にする 🜒 スクリプトレットの許可 ダイアログを表示する ● 無効にする)有効にする 🕑 スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの名 ○ ダイアログを表示する ○ 無効にする 有効にする 👔 スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスク ○ ダイアログを表示する つ 無効にする 有効にする 👔 バイナリ ビヘイビアーとスクリプト ビヘイビアー ○ 管理者の許可済み ○ 無効にする ● 有効にする 外部メディアプレーヤーを使用しない Web ページのビデオやアニメーションを 無効にする ○ 有効にする 🕑 署名された ActiveX コントロールのダウンロード ○ ダイアログを表示する ○ 無効にする 有効にする 📝 前回使用されなかった ActiveX コントロールを警告なしで実行することを影 ○ 無効にする ● 有効にする 👰 未署名の ActiveX コントロールのダウンロード ダイアログを表示する ● 無効にする ○ 有効にする 富 スクリプト Java アプレットのスクリプト ○ ダイアログを表示する ○ 無効にする ④ 有効にする SS フィルターを有効にする ○ 無効にする

有効にする

🗐 アクティブ スクリプト 〇 ダイアログを表示する ○ 無効にする 有効にする 🗊 スクリプトでのステータス バーの更新を許可する (一) 無効にする ● 有効にする 🗐 スクリプトによる貼り付け処理の許可 ダイアログを表示する ○ 無効にする ○ 有効にする 家 スクリプト化されたウィンドウを使って情報の入力を求めることを Web サイトに ○ 無効にする 有効にする 🗋 その他 ☐ IFRAME のプログラムとファイルの起動 ④ ダイアログを表示する ○ 無効にする ○ 有効にする Microsoft Web ブラウザー コントロールのスクリプトの実行を許可する 無効にする 有効にする MIME スニッフィングを有効にする ○ 無効にする 有効にする SmartScreen フィルター機能を使う ○ 無効にする 有効にする 📄 UserData の常設 () 無効にする 有効にする ○ Web サイトがアドレス バーやステータス バーのないウィンドウを開くのを許可 ○ 無効にする 有効にする ■ Web ページが、制限されたプロトコルをアクティブ コンテンツに使用することを ● ダイアログを表示する ○ 無効にする 有効にする □ アプリケーションと安全でないファイルの起動 ダイアログを表示する (一 無効にする) 有効にする □ サーバーにファイルをアップロードするときにローカル ディレクトリのパスを含める ○ 無効にする ● 有効にする ── サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する ● 無効にする 有効にする ■ ドメイン間でのデータ ソースのアクセス ○ ダイアログを表示する ● 無効にする ■ ドメイン間での個別のウィンドウへのコンテンツのドラッグを許可する 無効にする 有効にする ○ ドメイン間での同じウィンドウへのコンテンツのドラッグを許可する 無効にする 有効にする 📄 ファイルのドラッグ/ドロップ、またはコピー/貼り付け ○ ダイアログを表示する 無効にする 有効にする 📄 ページの自動読み込み 〇 無効にする ● 有効にする 📄 ポップアップ ブロックの使用 ○ 無効にする 有効にする □ より権限の少ない Web コンテンツ ゾーンの Web サイトがこのゾーンに移動 ○ ダイアログを表示する (一) 無効にする 有効にする 📄 レガシ フィルターをレンダリングする (一) 無効にする ● 有効にする □ 暗号化されていないフォーム データの送信 ○ ダイアログを表示する ○ 無効にする ● 有効にする □ 異なるドメイン間のウィンドウとフレームの移動 ○ ダイアログを表示する 無効にする 有効にする

□ 既存のクライアント証明書が1 つしか存在しない場合の証明書の選択 無効にする ○ 有効にする 🗋 混在したコンテンツを表示する ● ダイアログを表示する ○ 無効にする ○ 有効にする ダウンロード ファイルのダウンロード) 無効にする ● 有効にする フォントのダウンロー ○ ダイアログを表示する ○ 無効にする 有効にする 🎎 ユーザー認証 <u>
いました
</u>
し
の
オン ④ イントラネット ゾーンでのみ自動的にログオンする ユーザー名とパスワードを入力してログオンする ○ 現在のユーザー名とパスワードで自動的にログオンする ○ 匿名でログオンする

2. [詳細設定]

赤枠で囲った部分が必須設定項目。(OSの違い[windows7とWindows10 等]により、設定項目が無い場合もある) それ以外の項目は、資料通りに設定する必要はない。(デフォルト設定での使用を推奨)

🗋 HTTP 設定 ✓ HTTP 1.1 を使用する SPDY/3の使用 ✓ プロキシ接続で HTTP 1.1 を使用する 📰 アクセラレータによるグラフィック GPU レンダリングでなく、ソフトウェア レンダリングを使用する* ■ インターナショナル* ✓ URL パスを UTF-8 として送信する イントラネットの URL に IDN サーバー名を送信する ✓ イントラネット以外の URL に IDN サーバー名を送信する □ イントラネット以外の URL の UTF-8 クエリ文字列を送信する ▼ エンコードされたアドレスについて通知バーを表示する □ エンコードされたアドレスを常に表示する セキュリティ ☑ DOM ストレージを有効にする ✓ Internet Explorer でアクセスしたサイトに Do Not Track 要求を送 ■ POST の送信が POST を許可しないソーンにリダイレクトされた場合に ✓ SmartScreen フィルター機能を有効にする ✓ SSL 2.0 を使用する ✓ SSL 3.0 を使用する ✓ TLS 1.0 を使用する ✓ TLS 1.1 の使用 ✓ TLS 1.2 の使用 |✔| サーバーの証明書失効を確認する* ☑ ダウンロードしたプログラムの署名を確認する ✓ ネイティブ XMLHTTP サポートを有効にする ブラウザーを閉じたとき、[Temporary Internet Files] フォルダーを空 □ マイ コンピューターでの、CD のアクティブ コンテンツの実行を許可する* □ 暗号化されたページをディスクに保存しない □ 拡張保護モードで 64 ビット プロセッサを有効にする* □ 拡張保護モードを有効にする* □ 厳密な P3P 検証を有効にする* □ 署名が無効な場合でもソフトウェアの実行またはインストールを許可する ☑ 証明書のアドレスの不一致について警告する* 他の混在したコンテンツを持つセキュリティで保護されていないイメージをプ ✓ 統合 Windows 認証を使用する* ☑ 発行元証明書の取り消しを確認する □ 保護付き/保護なしのサイト間を移動する場合に警告する 🗐 ブラウズ □ Ctrl+Tab でタブを切り替えるときに、最新のページの順で切り替える ✓ FTP フォルダー ビューを有効にする (Internet Explorer 外) ✓ HTTP エラー メッセージを簡易表示する ✓ Internet Explorer アドレス バーと [ファイルを開く] ダイアログでインラ ✓ Internet Explorer が既定の Web ブラウザーでない場合に通知する ✓ Web ページのボタンとコントロールで視覚スタイルを有効にする □ アドレス バーへの 1 単語の入力でイントラネット サイトに移動する □ エクスプローラーのインライン オートコンプリートを使用してダイアログを実行 □ おすすめサイトを有効にする ▼ サードパーティ製のブラウザー拡張を有効にする* ____ スクリプト エラーごとに通知を表示する ✓ スクリプトのデバッグを使用しない (Internet Explorer) ✓ スクリプトのデバッグを使用しない (その他) ▼ スムーズ スクロールを使用する ▼ ダウンロードの完了時に通知する ✓ パッシブ FTP (ファイアウォールおよび DSL モデム互換用)を使用する ✓ パフォーマンスを最適化するためにサイトとコンテンツをバックグラウンドで読 ✓ ページ予測によるページ フリップを有効にする 「リンクの下線 ○ ポイントしたときに表示する 常に表示する つ 表示しない □ 開発者コンソールのメッセージを常に記録する ✓ 自動クラッシュ回復機能を有効にする* □ 履歴およびお気に入りの使用しないフォルダーを閉じる* 👍 マルチメディア ✓ HTML5 メディア要素の代替コーデックを有効にする* ✓ Web ページのアニメーションを再生する* ✓ Web ページのサウンドを再生する □ ダウンロードする画像のプレースホルダーを表示する ☑ 画像を表示する ☑ 自動的にイメージのサイズを変更する 🕑 ユーザー補助 🗌 システム サウンドの再生 — フォーカスや選択範囲の変更に応じてシステム キャレットを移動する 常にイメージの ALT テキストを展開する 新しいウィンドウとタブで、テキストを中サイズにリセットする 新しいウィンドウとタブのカーソル ブラウズを有効にする □ 新しいウィンドウとタブの拡大レベルをリセット